

# アンモニア燃料船開発と社会実装の一体型プロジェクト

## 事業の目的・概要

- **2028年までの出来るだけ早期**にアンモニア燃料船を日本主導で社会実装し、日本の海事産業がゼロエミ船分野で長期に渡り優位性を維持出来る形を目指し、他国に先駆けて推進システム・船体開発および保有・運航を行う。
- 早期の社会実装実現のためにアンモニア燃料船の「開発」、「保有・運航」、「燃料生産」、「燃料供給拠点整備」の全域をカバーする「統合型プロジェクト」の一環として本事業を推進する。

## 実施体制

※太字: 幹事企業

**伊藤忠商事株式会社**、  
川崎汽船株式会社、NSユナイテッド海運株式会社、  
日本シップヤード株式会社、株式会社三井E&Sマシナリー

## 事業期間

2021年度～2027年度(7年間)

## 事業規模等

- 事業規模：約30億円
- 支援規模\*：約20億円  
\*インセンティブ額を含む。今後ステージゲートでの事業進捗などに応じて変更の可能性あり。
- 補助率など：2/3 → 1/2（インセンティブ率は10%）

## 事業イメージ

## アンモニア燃料船開発・統合型プロジェクト

